



会話のきっかけ  
どうつくろう？  
👉 p.11

リアクションは  
どうとれば？  
👉 p.12

質問で話を  
引き出したい！  
👉 p.14

何か話題を  
提供したい！  
👉 p.16

会話をうまく  
終わらせるには？  
👉 p.19

## 特集

ビジネスに必須！

# 英語雑談力 会話が弾む22の秘訣

本誌の読者なら、ショッピングやレストランでの注文、あるいは会議やプレゼンテーションなど、なんらかの「目的」がある英会話であれば、たとえ片言であっても、なんとか切り抜けられるという人が多いかもしれません。登場する話題や使われる言葉が、ある程度最初から決まっているため、「どうやって話していいか」で悩むことはあっても、「何を伝えるべきか」が比較的是っきりしているからです。

一方、スピーキングに自信のある人でも、意外に不得手としているのが「雑談」です。特に、ビジネスシーンでは、相手との良好な関係を構築したり、気まずい「間」を埋めたりするために、雑談をする必要がしばしば生じます。

今回ご紹介する、雑談を展開させるのに役立つ表現を活用すれば、相手との関係を良くしたり、気まずい不自然な「間」をうまく切り抜けたりできます。それでは、早速始めましょう！

執筆 EE編集部

まずは、「雑談」の例を確認しましょう。最近転職してきたBにAがフレンドリーに話しかけています。

A Hi. Nice day, isn't it?

B It is. I love this time of year.

A So, have you gotten used to working here yet?

B Well, I think I'm getting the hang of it, but I'm afraid I still haven't fully settled in.

A That's totally understandable. Like you, I transferred from another company, and it took me a while to get used to things here. Is there anything specific you're having trouble with?

B Well, things like the document formats are quite different from the ones we used at my previous company.

A Yeah, I had to adjust to that too. Plus, this company requires us to prepare so many documents. It's a bit of a pain. Is there anything else?

B Hmm... No, I think I'm OK for now.

A That's so reassuring to hear. If you ever need help, I'm always available.

B That's good to know—thanks.

A And why don't you join us next time a few of us go out for a bite? It's usually good fun.

B That sounds great! I'd love to.

A Oh, lunch break is almost over. I guess we should get back to work soon.

B Sure. I'm just going to grab some water on my way back. It was nice chatting with you.

A こんにちは。いい天気ですね。

B そうですね。大好きな時季です。

A で、この職場にはもう慣れましたか？

B まあ、だいたいの感じはつかめてきたと思いますけど、まだ完全にはなじめてなくて……。

A それ、すぐわかります。私もあなたと同じように、他社から転職してきたんですよ。このやり方に慣れるまで、少し時間がかかりました。何か具体的に困っていることはありますか。

B そうですね、書類の書式などが、前の会社のものとずいぶん違うんですよ。

A わかります。私も慣れるのに苦労しました。それに、この会社は、やたらと書類を準備しないといけないですよね。ちょっとめんどくさいです。他には何かありますか？

B うーん、いえ、今のところは大丈夫です。

A そうですか、それを聞いて安心しました。困ったことがあったら、いつでも相談に乗りますよ。

B それは心強いです。ありがとうございます。

A 今度、何人かで食事に行くとき、ご一緒にどうですか。だいたいいつも楽しいですよ。

B いいですね！ ぜひ行きたいです。

A あっ、もう昼休みが終わっちゃいます。そろそろ仕事に戻らないといけませんね。

B そうですね。ちょっと水でももらってから戻ります。お話ができて良かったです。

**語句** get used to doing: ~するのになれる/get the hang of: 《話》~のコツをつかむ/settle in: (新しい環境などに)慣れる、落ち着く/adjust to: ~に適応する、慣れる/a pain: 《話》面倒なこと/reassuring: 安心させる、心強い/go out for a bite: 軽く食事に行く/break: 休憩時間/I guess (that)....: ...だろう/grab: 《話》~をさっと手に入れる/chat: おしゃべりする

「雑談上手」の人は、以下のポイントを意識しています。これは、英語の場合でも、日本語の場合でもほぼ同じです。

## STEP 1 まずは「きっかけ」をつくる

雑談をする際の最初のハードルとなるのが「きっかけ」をつくることです。例えば「天気」の話題は、万国共通なので、かなり使いやすいです。また、「さあ、どうですか?」や「Have you gotten used to things?」「慣れてきましたか?」と聞いたり、ちょっとした差し障りのなさそうな質問も有効でしょう。 ▶ [右ページへ](#)

## STEP 2 「リアクション」で会話を盛り上げる

相手に「気持ち良く」しゃべってもらえるように、ややオーバー気味のリアクションを心がけてみましょう。「雑談上手」は「リアクション上手」です。totallyやabsolutelyなどの「強意の副詞」をうまく用いると、良いリアクションを返せるはず。 ▶ [p.12](#)

## STEP 3 上手な「質問」で相手の話を引き出す

雑談をスムーズに進めるためには、「相手に質問をする」→「質問に答えてもらう」→「それについてコメントする」という一連の流れを生み出すことが大切です。ただし、まるで「尋問」のように矢継ぎ早に質問を投げ続けるのはNGです。 ▶ [p.14](#)

## STEP 4 こちらから「話題を振り、自分も話す」

「質問をして、それに答えてもらう」という流れだけでは、どうしても味気ない雑談になってしまがちです。それを回避するために、適宜、新しい話題を相手に振り、自分のことも話して会話を盛り上げていきましょう。 ▶ [p.16](#)

## STEP 5 会話をうまく「終わらせる」

どんなに盛り上がっても、全ての雑談には「終わり」があります。しかし、雑談の「終わらせかた」は一筋縄ではいきません。相手の気分を害さず、うまく雑談を切り上げる方法とは。 ▶ [p.19](#)